

アクティブ地理 自然災害から命を守ろう -災害の危険性と防災情報の活用-

(教科書p. 150～151)

年 組 番

1. イラスト地図から自然災害の危険性を考えよう

TRY1

①図1のア～ウの地点で、起こりうる自然災害を挙げよう。

ア	
イ	
ウ	

②<対話>以下の判断の分かれ道(クロスロード)で、あなたは YES と NO のどちらを選択するか、判断した理由とともに話し合おう。

Q1 あなたは自宅にいます。台風の接近に伴い、昼過ぎから雨が激しくなり、午後6時には気象庁から大雨・洪水警報が発表されました。しかし、地元の自治体からの避難指示が出ているのかどうか、分かりません。この時点であなたは避難を始めますか？	
YES ・ NO	理由

Q2 結局、そのまま自宅にとどまることにしました。その後、雨の降り方がひどくなり、避難しようと考えましたが、暗くて自宅周辺の状況も分かりません。その際、あなたは自宅の2階に避難しますか？それとも200mほど離れたビルに避難しますか？	
YES ・ NO	理由

2. ハザードマップを使って避難先を考えよう

TRY2

①図2で、長谷駅は何m浸水すると予測されているのだろうか。

m

②あなたが図2の★の地点にいる時に、規模は分からないが津波発生の危険を感じたら、ア～ウのどこに避難すればよいのだろうか。津波到達時間も参考に、避難先と避難ルートを考えよう。

--

③あなたの考えた避難先・避難ルートを発表し、理由も説明しよう。

--

3. あなたが暮らす地域で起こりうる自然災害に備えよう

TRY3

①街なかにある防災に関する情報を見つけよう。また、防災に関わる情報を入手しよう。

--

②あなたが暮らす地域のハザードマップを入手して、どのような自然災害の危険性があるのか調べよう。

--

③<対話> ②の自然災害に対して、日頃からどのような備えができるのかを考え、話し合おう。

--

振り返り

◎…よくできた ○…できた △…あまりできなかった

自然災害の発生の危険性を理解し、防災情報の入手方法やハザードマップの活用方法を身につけることができた。

(◎ ○ △)

根拠を明らかにし、自分の意見を表現できた。

(◎ ○ △)